

台湾企業が海外企業へ支払う費用の源泉徴収税率20%はかなり高いですが、
どのような場合に税率を引き下げるか、またはゼロ税率にできますか？



4つの解決策：源泉徴収税率を引き下げるアプローチ



第1種：DTA（租税条約）ゼロ税率申請

対象: 事業利益、技術・専門サービス

税率: 0%

条件: 海外受取人のCOR（居住者証明書）必須。
法人のみ。



第2種：第25条に基づく税率減免申請

対象: 技術サービス料（市場調査、検品等）

税率: 2%~3%

条件: DTA非締結国でも適用可能。

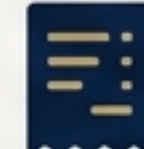


第3種：第15の1に基づく税率減免申請

対象: 事業利益、専門サービス

税率: 通常3%以下

条件: DTA非締結国でも適用可能。



第4種：立替払い

対象: 営業税（VAT）、特許年金等

税率: 全額送金可（非課税）

条件: 明確な支払証憑（領収書等）必須。

台湾はどの国とDTA（二重課税防止条約）を締結していますか？

ヨーロッパ

オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、ハンガリー、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、北マケドニア、ポーランド、スロバキア、スウェーデン、スイス、英国



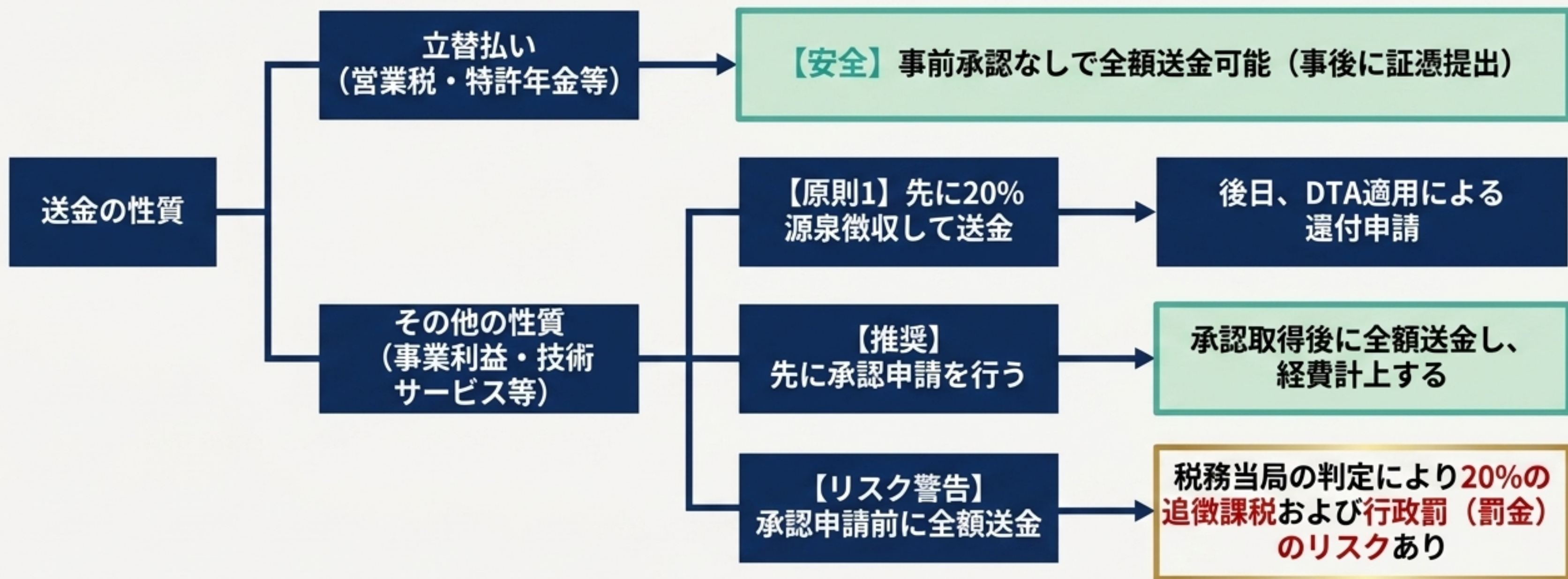
アジア・オセアニア

オーストラリア、インド、インドネシア、日本、キリバス、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、タイ、ベトナム

南北アメリカ・アフリカ・中東

カナダ、エスワティニ、ガンビア、イスラエル、パラグアイ、セネガル、南アフリカ、サウジアラビア（※2022年1月追加）

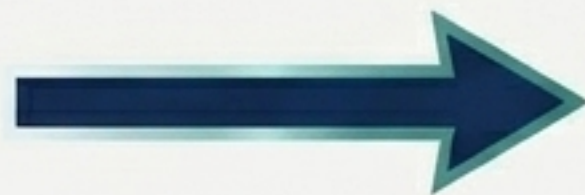
台湾企業が海外送金を行う際、承認を申請する前に全額を送金することはできますか？



海外送金時の源泉徴収税率の軽減に関して、 エバーシャインは、どのようなサービスを提供できますか？ 台湾企業はどのような場合にエバーシャインに委託しますか？



台湾企業
(Client)



エバーシャイン
(Evershine)



海外受取人
(Overseas Payee)

【顧客の課題】 海外の受取人が居住者証明書 (COR) の申請を嫌がる、または申請方法を知らない。

【提供サービス】 DTAゼロ税率申請、第25条・第15の1税率減免申請、立替払い代行。

【永輝の解決策】
エバーシャインの現地子会社が受取人としてCORを申請。
台湾企業からエバーシャインへ支払い、そこから最終的な現地受取人へ中継決済することでスムーズな税率軽減を実現。

エバーシャインが台湾で資金を受け取り、海外子会社で支払う場合の原則と方法は何ですか？

ケース1：立替払い（VAT・特許年金等）



証憑があるためDTA締結国でなくても適用可能。

ケース2：EOR給与（DTA締結国 / 例：ドイツ）



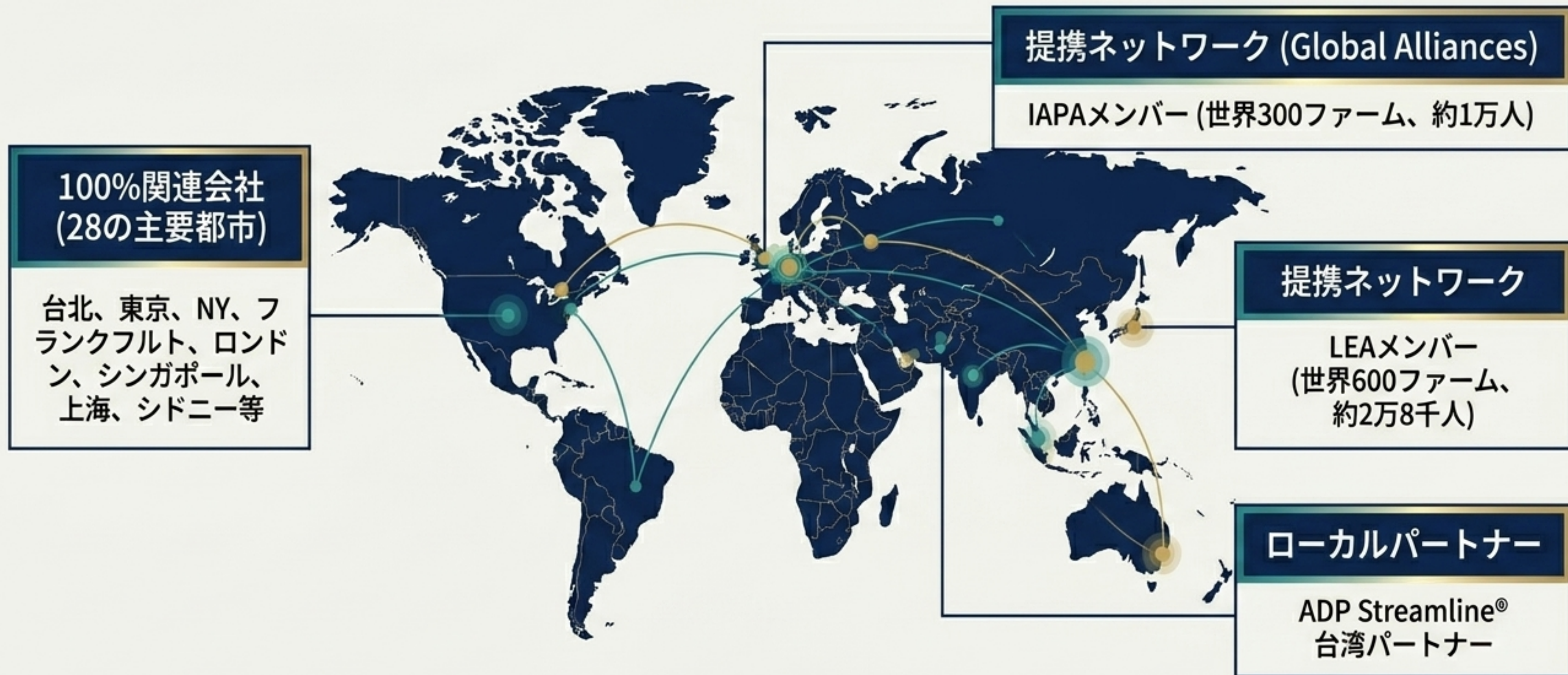
エバーシャインが代行してDTAゼロ源泉徴収税率を申請。

ケース3：EOR給与（非DTA締結国）



エバーシャインが代行して第25条に基づく3%源泉徴収税率を申請。

グローバルサービス拠点参考資料



お問い合わせ:

台湾エバーシャイン（永輝）協同ネットワークサービス株式会社
エバーシャイン（永輝啓佳）公認会計士事務所

住所：104 台北市中山区長春路378号6階

担当ディレクター：朱鍵彰（Jerry Chu）

電話：+886-2-2717-0515 内線103

手機&Whatsapp：+886-939-357-735

Email：sales.taiwan@evershinecpa.com